

## 製品安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	展着剤ササラ
製品コード	AK7209J
会社名	アグロ カネショウ株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂シヤスタース7F
電話番号	03-5570-4711 (所沢事業所:04-2003-7006)
緊急時の電話番号	同上
FAX番号	03-5570-4708 (所沢事業所:04-2003-7302)
メールアドレス	<a href="mailto:toiawase@agrokanesho.co.jp">toiawase@agrokanesho.co.jp</a>
推奨用途及び使用上の制限	農薬(展着剤)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
	自然発火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1
環境に対する有害性	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分2
	水生環境急性有害性	区分2
	水生環境慢性有害性	区分2

※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」

#### 絵表示又はシンボル



#### 注意喚起語 危険有害性情報

危険  
引火性液体および蒸気  
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い  
臓器の障害  
長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ  
水生生物に毒性  
長期的影響により水生生物に毒性

#### 注意書き

【安全対策】  
容器を密閉しておくこと。  
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙  
指定された個人用保護具を着用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。  
火花を発生しない工具を使用すること。

使用前に取扱説明書入手すること。  
 すべての安全性注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 取り扱い後はよく洗うこと。  
 ミスト／蒸気を吸入しないこと。  
 必要なとき以外は環境への放出は避けること。  
**【応急措置】**  
 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。  
 暴露又は暴露の懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。  
 暴露した場合、医師に連絡すること。  
 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。  
**【保管】**  
 涼しく、換気のよい場所で保管すること。  
 施錠して保管すること。  
**【廃棄】**  
 内容物、容器を都道府県知事／市町村の規則に従って、適切に廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報**

単一製品・混合物の区別	混合物
成分及び含有量	
[有効成分1]	
化学名又は一般名	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル
CAS番号:	9043－30－5
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	化審法: ー 安衛法: ー
濃度又は濃度範囲	55%
[その他の成分1]	
化学名又は一般名	イソプロピルアルコール
CAS番号:	67－63－0
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	化審法: (2)－207 安衛法: ー
濃度又は濃度範囲	18%
[その他の成分2]	
化学名又は一般名	水、有機溶剤等
濃度又は濃度範囲	27%

**4. 応急措置**

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診断、手当てを受けさせること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を取り除き、石鹼と多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせること。

**5. 火災時の措置**

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水

<p>特有の危険有害性</p> <p>特有の消火方法</p> <p>消火を行う者の保護</p>	<p>火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。</p> <p>危険でなければ火災区域から容器を移動する。</p> <p>消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。</p> <p>消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。</p>
---	--

**6. 漏出時の措置**

<p>人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置</p> <p>環境に対する注意事項</p> <p>封じ込め及び浄化方法・機材</p>	<p>屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。</p> <p>漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。</p> <p>作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵等を吸入しないようにする。</p> <p>風上から作業し、風下の人を待避させる。</p> <p>流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。</p> <p>回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。</p> <p>漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。</p>
--	--

**7. 取扱い及び保管上の注意**

<p>取扱い</p> <p>局所排気・全体換気</p> <p>注意事項</p> <p>安全取扱い注意事項</p> <p>保管</p> <p>保管条件</p> <p>容器包装材料</p>	<p>技術的対策</p> <p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p> <p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。</p> <p>みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取り扱う。</p> <p>屋外または換気の良い場所で取り扱うこと。</p> <p>粉塵等を吸入しないこと。</p> <p>眼、皮膚、衣類に付けないこと。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。</p> <p>施錠して保管すること。</p> <p>データなし。</p>
--	--

**8. ばく露防止及び保護措置**

<p>設備対策</p> <p>管理濃度</p> <p>許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)</p> <p>保護具</p> <p>呼吸器の保護具</p> <p>手の保護具</p> <p>眼の保護具</p> <p>皮膚及び身体の保護具</p> <p>衛生対策</p>	<p>粉塵やミストが発生する場合、局所排気装置を設置すること。</p> <p>イソプロパノール 200ppm</p> <p>日本産業衛生学会(2009年度版)</p> <p>イソプロパノール 400ppm</p> <p>ACGIH(2009年度版)</p> <p>イソプロパノール 200ppm(TLV-TWA)</p> <p>適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。</p> <p>適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。</p> <p>適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。</p> <p>適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。</p> <p>この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p>
---	---

**9. 物理的及び化学的性質**

<p>物理的状態</p> <p>形状</p> <p>色</p> <p>pH</p> <p>比重(密度)</p>	<p>液体</p> <p>無色</p> <p>4.7(20%水溶液)</p> <p>0.93(20°C)</p>
---	--

引火点 29.5°C

## 10. 安定性及び反応性

安定性 通常の条件下では安定。  
 危険有害反応可能性 通常の条件下では安定。  
 避けるべき条件 データなし  
 混触危険物質 データなし  
 危険有害な分解生成物 通常の条件下では生成しない。  
 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

## 11. 有害性情報

急性毒性 経口 ラット経口LD50 >5000 mg/kgに基づき、区分外とした。  
 経皮 ラット経皮LD50 >2000 mg/kgに基づき、区分外とした。  
 皮膚腐食性・刺激性 ウサギにおいて刺激性がみられなかったことから、区分外とした。  
 眼に対する重篤な損傷・刺激性 ウサギにおいて刺激性がみられたが、軽微であったため、区分外とした。  
 呼吸器感作性又は皮膚感作性 皮膚感作性： モルモットにおいて皮膚感作性がみられなかったことから、区分外とした。  
 生殖毒性 区分2に分類されるイソプロパノールを3%以上含有することから、区分2とした。  
 特定標的臓器／全身毒性(単回暴露) 区分1に分類されるイソプロパノールを10%以上含有することから、区分1とした。  
 特定標的臓器／全身毒性(反復暴露) 区分2に分類されるイソプロパノールを10%以上含有することから、区分2とした。

## 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性 コイ96時間LC50値5.44mg/L、ミジンコ48時間EC50値4.02mg/L、藻類72時間EC50値7.49mg/Lであったことから、区分2とした。  
 水生環境慢性有害性 急性区分2で、急速分解性および蓄積性が不明のため、区分2とした。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
 汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規制 海上規制情報 IMOの規定に従う。  
 UNNo. 1993  
 Proper Shipping Name FLAMMABLE LIQUID, N.O.S  
 Class 3  
 Packaging group III  
 Marine Pollutant -  
 航空規制情報 ICAO/IATAの規定に従う。  
 UNNo. 1993  
 Proper Shipping Name FLAMMABLE LIQUID, N.O.S  
 Class 3  
 Packaging group III  
 Marine Pollutant -  
 国内規制 輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

**特別安全対策**

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。重量物を上積みしない。

**15. 適用法令**

農薬取締法	第22156号
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第1種指定化学物質 ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル: 1-407
毒物及び劇物取締法	該当なし
消防法	危険物第4類第二石油類(水溶性液体)危険等級Ⅲ
労働安全衛生法	イソプロパノール: 施行例別表第1危険物(引火性の物) 政令別表第6の2有機溶剤中毒予防規則(第2種有機溶剤)

**16. その他の情報**

**公益財団法人 日本中毒情報センター**

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。

処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪 (365日, 24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日, 9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

- 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 注意事項は通常の手配を対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
- 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。